

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2012年12月21日）

この日の活動は、大きく2つ、野田小学校で子どもたちにクリスマスプレゼントを贈ることと、仮設住宅のみなさんにボランティアセンターからの年賀状をお渡しすることでした。活動を行ったのは、学生事務局の出張君と教員事務局の李先生、そして山口の3人です。この日は金曜日で大学生は授業日があり、昨年と違って今回は、私たちが代表してプレゼントを持って行くことにしました。

クリスマスのプレゼントについては、今回は、市民参画センターやボランティアセンター経由で、合計234個が集まっていました。さらに、183枚の押し花と81個のエコバックも届けていただきました。野田村にプレゼントを届けよう！という多くのみなさんのお気持ちが嬉しい限りです。これらのプレゼントに加えて、かわいらしいサンタの袋に入れた文房具セットも用意しました。これらを一台のバンにギュウギュウにつめこんで、早朝、野田村へと出発しました。

野田小学校に着くと、すぐに先生方が迎えてくださり、さっそくプレゼントを渡すことになりました。今回は出張君と、そして急きょ山口も赤いサンタに扮しました。また、昨年に役場の前で、段ボールからそのまま出して子どもたちにプレゼントを渡した反省から、今年は李先生が、サンタらしい白い袋を用意していました。それにプレゼントをたくさん詰め込んで、小学1年生の教室から、順番に高学年生へと渡して行きました。子どもたちを驚かすべく、コソコソ隠れながら教室から教室へと移動していたのですが、ときどき見つかって、子どもたちの視線は釘付けに…。



すっかりサンタになりきっています。
中には何が入っているのかな。

低学年の子どもたちは、サンタの登場に大喜びで、ヤンヤンヤの大騒ぎでした。あまりの素直な反応に、こちらも感激でした。それが高学年になっていくにつれて、だんだん

と落ち着いていき、その様子の変化が楽しかったです。みな、やはりプレゼントには心躍るといふもの、うれしそうに、ときに恥ずかしそうに、受け取ってくれました。



サンタとしては、教室でのはじめのつかみが大切。「サッカー好きな人？」
「はい」と元気に手をあげてくれる。

最後の高学年の子どもたちの教室では、クリスマス会が行われており、そこに短い間でしたが、参加させてもらいました。このクラスの子どもたちや先生とは、以前に豆腐作りのときにもお邪魔して交流しており、子どもたちはそのときに参加していた李さんの顔をちゃんと覚えていました。最後に、子どもたちの書いたカードをいただき、また、先生にも温かい言葉をかけていただきました。こうして交流が続くのが大切だなあと感じます。

このプレゼントの企画が今年、小学校で実現したのは、野田小学校の諸先生方の大きなお力添えがあってこそです。深く感謝したいと思います。



カードをプレゼントしてもらう。手書きの一枚一枚のカードのぬくもりがうれしい。



仮設住宅でボランティアセンターからの年賀状をポストに入れる。

さらに、今回の活動はもう一つありました。ボランティアセンターの今年最後の野田村での活動ということで、学生事務局で、野田村の仮設住宅のみなさんにお渡しするべく、年賀状を用意してくれていました。それをすべての仮設住宅をまわって、お届けしました。ご自宅にいらした方には、今年一年お世話になったこと、来年もよろしくお願ひしますというごあいさつをしました。

久しぶりに仮設住宅を訪れてみると、空家になったところが増えたなあという印象を持ちました。新しく家を再建して出て行かれた方や、アパートを借りた方、また、さまざまなご事情がある方もいらっしゃるでしょう。少しずつ変わっていく野田村に、今年も関わらせていただき、また来年も一緒に歩んでいこうと強く思った日でした。

(山口恵子)